



特集 気候変動対策  
**私たちは地球でしか生きられない**

# JICAの気候変動支援MAP

地球の未来を脅かす気候変動問題に対し、3スキーム(有償、無償、技術協力)を駆使し、包括的な支援を各国で展開するJICA。ここでは、その取り組みの一部を紹介。

## ■ エジプト 風力で環境に優しい新たな電力源を

ザファラーナ風力発電事業

電力 有償 緩和策 CDM

紅海に面し、風力発電に適した砂漠地帯に142基の風車を設置。再生可能エネルギーの利用は、国内の電力需要に対応するだけでなくCO<sub>2</sub>排出量の削減にも貢献。(P14に関連記事)



## ■ キルギス 家畜を利用しバイオガスを生成

バイオガス技術普及支援計画

農村開発 技術協力 緩和策

家畜のふん尿を利用し、バイオガス(主成分メタンガス)と肥料の生成プラントを建設。温室効果ガス排出量の削減、エネルギー源の確保にも貢献。農民の生活向上を目指す。(P20に関連記事)



## ■ バングラデシュ 避難所の建設で大型サイクロンに対応

多目的サイクロンシェルター建設計画

防災 無償 適応策

沿岸部という地理的条件から、大型サイクロンによる高潮が多発している地域にサイクロンシェルターを建設。平常時は教育施設として活用できるように設計。



## ■ バングラデシュ 天然ガスのごみ収集車を導入

ダッカ市廃棄物管理低炭素化転換計画

廃棄物 無償 緩和策

ごみ収集車が不足していたダッカ市に、従来よりもCO<sub>2</sub>排出量が少ない圧縮天然ガスを燃料とした収集車を導入。市民の温室効果ガス排出削減・気候変動対策に対する関心の喚起にも貢献。



## ■ ボリビア 消滅の危機にある氷河のために

氷河減少に対する水資源管理適応策モデルの開発

水資源 技術協力 適応策 科学技術協力

温暖化による氷河減少の予測を踏まえ、将来的な水資源の確保、温水への適応策の提案のために日本とボリビアの大学が共同研究を開始。



## ■ パラグアイ 広大な貯水池を活用しクリーンエネルギーを生む

イグアス水力発電所建設事業

電力 有償 緩和策 CDM

琵琶湖とほぼ同じ面積を持つ既存のイグアス貯水池を活用して水力発電所を建設。水力を使って発電することにより、温室効果ガスの排出削減も期待される。



## ■ セネガル・モザンビーク・ニジェール・エチオピア 水不足に苦しむ人に安定した水のアクセスを

緊急給水計画

水資源 無償 適応策

気候変動などの影響もあり洪水や干ばつ被害に見舞われているアフリカ4カ国に対し、安全で衛生的な水へのアクセス向上を目的として、井戸掘削機、給水車、給水タンク、浄水剤などを供与。



## ■ ケニア 住民主体で洪水の防止対策

ニヤンド川流域気候変動対策に適応したコミュニティ洪水対策計画

防災 無償 適応策

雨量の増加により洪水が多発しているニヤンド川流域で、避難施設の建設や住民組織を中心とした洪水管理体制の強化を支援。



## ■ インド 電力再利用によりCO<sub>2</sub>を削減

デリー-高速輸送システム建設事業

運輸 有償 緩和策 CDM

交通渋滞の激しい首都デリーに「デリーメトロ」を建設。車両には電力回生ブレーキを搭載し、ブレーキ時に発生するエネルギーを再び電力として利用。年間約4万トンのCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献。



## ■ インドネシア 美しいバリの砂浜を再生

バリ海岸保全事業

有償 適応策

サンゴ礁の劣化や海岸侵食により、かつての美しさが失われつつあったバリの海岸で、サンゴの復元、砂浜の再生を実施。海面上昇の際の侵食進行防止という気候変動の適応効果も。



## ■ ベトナム 森林を増やしCO<sub>2</sub>を吸収

AR-CDM<sup>\*</sup>促進のための能力向上

植林 技術協力 緩和策

植林により、CO<sub>2</sub>吸収源となる森林の増加を推進。植林分野のCDMにかかわる人材の育成、制度の整備・構築を支援。同分野のCDMとしては世界で4件目の登録。



※CDMのうち、植林を通じてCO<sub>2</sub>吸収を促進する事業。

## ■ ツバル 大洋州の島を水没から守る

エコシステム評価及び海岸防護・再生調査

技術協力 適応策

島の生態由来による形成メカニズムの解明、海岸侵食対策のための調査を実施中。海面上昇により水没の危機にさらされているツバルを守る。

